

学校法人奈良学園理事長 伊瀬敏史 殿

**奈良学園大学不当解雇事件に対し、「解雇は違法・無効」とした奈良地裁の判決を重く受け止め、争議の早期終結・学園の正常化を求めます。**

奈良地方裁判所(島岡大雄裁判長)は、2020年7月21日、奈良学園大学の教授らが平成29年3月末で解雇・雇止めされた事件で、教授ら7名の内5名に対する解雇が違法・無効であるとして学校法人奈良学園(伊瀬敏史理事長)に対し、労働契約上の権利を有する地位にあることの確認(定年に達していない3名)、および平成29年4月以降の未払い賃金・賞与として総額1億2000万円以上を支払うよう命じる判決を下しました。また定年後再雇用の2名に対して、人員削減の必要性が高いとはいえないなか、雇止めが有効とされたことは遺憾でした。判決全体としては、教員らの雇用継続について責任ある対応を迫る大きな意義ある判決でした。

判決後、組合と原告は、貴職に対し、判決を重く受け止め、話し合いで全面的な解決を図り、幼稚園から大学までを擁する奈良県有数の教育機関として本来の役割を果たすことを申し入れました。しかしながら、貴法人は判決直後、報道陣に対し「一部でも敗訴の場合は控訴について検討する」と答えていたとおり、その後、控訴することを決定しました。そのため3年続いた裁判は終わらず、大阪高裁で法廷闘争が今後さらに続けられることになりました。

原告7名の解雇・雇止めを強要した奈良学園前理事長は奈良県教育委員会の元教育長・元県立高校校長であり、また、同委員会の役職者らが奈良学園の要職に就任するなど、奈良学園はかねてから県教育行政中枢部と深い関係を持つ学園であることはよく知られているところです。

今回の裁判の判決と争議の行方について、学園内の園児、児童、生徒、学生、その保護者、大学・教育関係者そして県民が強い憂慮や関心を示しています。これらの声を意識して、学園が関係各位を不安にさせていることに対し、法人ホームページにおいてすべての奈良学園関係者におわびをしています。もし本当に心からおわびしているならば、貴職は、学園の「一刻も早い学園正常化」を目指し、控訴の取り下げを決断されるべきではないでしょうか。

私は、「学校法人奈良学園は、いつまでも不正常な状態を続けるのではなく、本争議の全面解決により、本来の信頼される教育機関としての役割を果たされるよう」強く求めるものです。

私の一言

2020年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 役職・所属

住所

**取り扱い団体** 奈良県労働組合連合会(奈労連)0742-26-7135 FAX0742-27-3314

奈労連への FAX 返送も可としています。

**学校法人奈良学園(伊瀬敏史理事長)の不当解雇・雇止め事件について  
原告らの完全勝訴となる判決を求める署名**

奈良学園大学のビジネス学部と情報学部の教員であった7名の原告らは、平成29年3月に学校法人奈良学園を解雇・雇止めされました。

法人は「ビジネス学部」と「情報学部」両学部の後継学部となる現代社会学部の設置申請に失敗しましたが(平成25年8月)、理事会と両学部のあいだの約束では、そのまま「ビジネス学部」と「情報学部」の学生募集を継続することになっていました。

しかし、理事会はその約束を反故にし、後継学部ができないまま両学部の募集停止を決定しました。

これは経営的に不合理なものでした。そして法人は約40名の全教員に対し、平成29年3月までの「転退職・希望退職」を一方向的に迫ってきました。

原告らは全教員の雇用の維持を求め、平成26年2月に組合を結成し、団体交渉を重ね闘ってきました。

しかし、法人は排除の総仕上げをするかのように、希望退職に最後まで応じなかった教員に対し解雇・雇止めを強行しました。希望退職とは名ばかりのものでした。学部も研究所も合理的理由なく閉じ、所属する場を奪い、解雇回避努力もしませんでした。法人の財務は逼迫した状況ではありませんでした。

このような法人の不誠実で横暴な解雇・雇止めに対し、原告らは奈良地方裁判所に地位確認等請求訴訟を提起しました。提訴から3年余り、原告らの主張が大筋で認められ「解雇は無効と下された一審判決」は、それまでの長い闘いが報われるもので、原告らに勇気と希望を与えるものでした。

貴高等裁判所におかれましては、教育機関である被告法人の背信性や経営姿勢を正していただき、さらに厳正に法に照らし原告らの完全勝訴となる判決を出されることを要望します。自分たちの正義を信じて闘ってきた原告らにゆるぎない勇気と希望を与えてください。

2020年 月 日

団体名

代表者

住所

(署名の送付先・連絡先) 奈良県労働組合連合会(奈労連)

〒630-8213 奈良市登大路町5-5 奈良県教育会館1F 電話:0742-26-7135、FAX:0742-27-3314

奈良県労働組合連合会(奈労連)、関西地区私立大学教職員組合連合(関西私大教連)、

奈良学園大学教職員組合